

令和6年度 第2回 静岡県立浜松湖南高等学校 学校運営協議会議事録

1 日時 令和6年10月29日(火)

2 場所 静岡県立浜松湖南高等学校 会議室

3 委員 神村 美紀(令和5年度 PTA会長)

松本 雅美(ムンド デ アレグリア学校 理事長兼校長)

坂田 雄章(元自治会副会長・元中学校長)

杉山 哲也(河合塾浜松校 校舎運営チームチーフ)(欠席)

小杉 大輔(静岡文化芸術大学教授)

渥美 和弘(浜松市まちづくり推進課 雄踏協働センター所長)

4 内容

(1) 校長挨拶

(2) 学校の近況についての報告

(ア) 英語科の活動報告

(イ) 部活動の結果報告

(ウ) 進路課より活動報告

(エ) ヘンドン校との交換留学の報告

(オ) 「行きたい学校づくり」推進事業について

(カ) その他

(3) 校舎内見学

(4) 意見交換

(5) 諸連絡

5 議事録(要点)

(2) 学校の近況についての報告

(ア) 英語科の活動報告

英語学科長よりオーストラリア語学研修、サマーセミナー、外務省職員による講座、ムンド校訪問、台湾明道高校とのオンライン交流などの取組を説明した。

委員より、PTAの方から「ヘンドン高校との交流が楽しかった」と話があった旨の発言があった。

(イ) 部活動の結果報告

生徒課長より主に東海大会以上を中心に大会の結果を報告した。卓球部、書道部の活動の様子を動画で報告した。

(ウ) 進路課より活動報告

進路課長より進路保護者説明会など取組や各学年の様子などの報告をした。

(エ) ヘンドン校との交換留学の報告

副校長より 10 月 21 日から 28 日まで来校した姉妹校ヘンドン校の生徒と本校生徒との交流の様子を報告した。参加した授業の様子を動画にて報告した。

(オ) 「行きたい学校づくり」推進事業について

校長より「行きたい学校づくり」推進事業について報告した。本校は探究推進の拠点校の指定を受け HAMANAN 探究コンソーシアムの構築が求められており、第 1 回連絡会議を 12 月 12 日に実施予定であることを報告した。

(カ) その他

副校長より学校の広報として、インスタグラムをはじめたことやホームページのデザインが変更になったこと、さらに 11 月 2 日にオープンスクールを実施予定であることを報告した。また遠隔授業の実施を 10 月に届出したことを報告した。生徒保健委員会で生徒が『誰もがわかる校内標識』を作成したことも報告した。

(3) 校舎内見学

図書館のディスプレイの様子や日暮れ後の事故防止のために設置したセンサーライト、生徒が作成した校内標識などを見学していただいた。

(4) 意見交換

- 廊下が綺麗。廊下が綺麗になっているということは、普段から掃除が行き届いている証拠。糸くずすら落ちていなくて、感心した。
- 生徒へのアピールとして、インスタは素晴らしい。ホームページが紹介だけになっているところがあったくない。広報は大事である。紹介はできるが、アピールは難しい。
- 英語科がもっと活気が出るといい。できれば 2 クラスあるといい。
- オーストラリア研修は全員参加か。→ 参加である。保護者が協力的だと思う。
- 学校紹介で高校生を呼んで、紹介してもらっていたことがある。高校生は卒業生として母校に行く取り組みをした。高校の先生が来て中学で授業をしてくれると、生徒達の取り組みが変わった経験がある。
- 湖南の先生や生徒が明るくなっている印象である。生徒の顔つきがいい。以前とは違い、驚いた。教員と生徒の関係が良くなれば、学校はよくなる。
- 保護者が体育大会に 300 人近くが来場したことに驚いた。こんなに来ることは知らなかった。
- トイレが新しくなることは魅力の 1 つになる。
- オーストラリア研修が実施されている。円安の影響もあると思うが、実施されているのいい。英語科のアピールになっている。

(5) 諸連絡

副校長より次回は 1 月下旬から 2 月上旬に開催する予定であることを連絡した。